

⑦定格熱出力到達 (1/2)

①復水器
真空上昇

②原子炉起動

③タービン起動
発電機仮並列・本並列

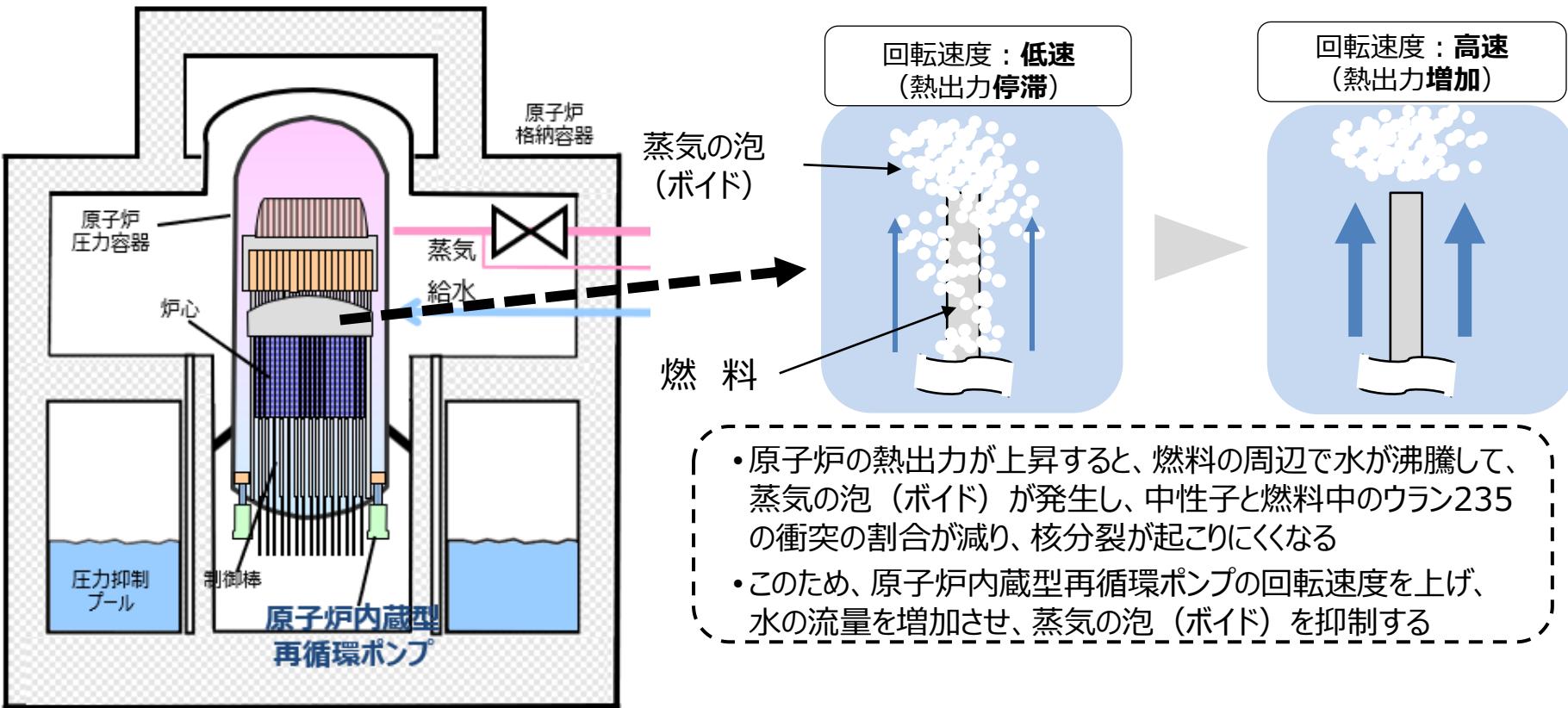
④中間停止

⑤原子炉起動
発電機仮並列・本並列

⑥タービン起動
発電機仮並列・本並列

⑦定格熱出力到達

- 定格まで熱出力を上昇させるため、原子炉内蔵型再循環ポンプの回転速度を上げ、**炉心を通過する水の流量を増加させ、蒸気の泡（ボイド）を抑制することにより、核分裂を起こしやすくなる**
- これにより、炉心の蒸気の泡（ボイド）の量が減り、核分裂が多く起こることで、熱出力が上昇し定格熱出力392.6万kWに到達（定格熱出力一定運転※）
※発電効率向上のために、原子炉で発生する熱を調整し運転中の熱出力を一定にする運転



⑦定格熱出力到達 (2/2)

①復水器
真空上昇

②原子炉起動

③タービン起動
発電機仮並列・本並列

④中間停止

⑤原子炉起動

⑥タービン起動
発電機仮並列・本並列

⑦定格熱出力到達

- 原子炉が定格熱出力に到達し、運転状態が安定した段階で、使用前事業者検査の最終検査として、**各設備の圧力、流量などのデータを記録し、プラント全体が正常に機能していることを総合的に確認（総合負荷性能検査）**
- 本検査にあわせて、原子力規制委員会が**使用前確認※**を実施
※ 使用前事業者検査が適切に行われ、終了していることを原子力規制委員会が確認
- 確認の結果問題がなければ、原子力規制委員会より**使用前確認証が交付**され、その時点から営業運転開始となる

< 主なデータ記録項目 >

・原子炉出力、圧力、水位
・熱出力など

・主蒸気流量など

・入口蒸気温度など

・放射線モニタ
測定値など

・ポンプ速度
・振動など

